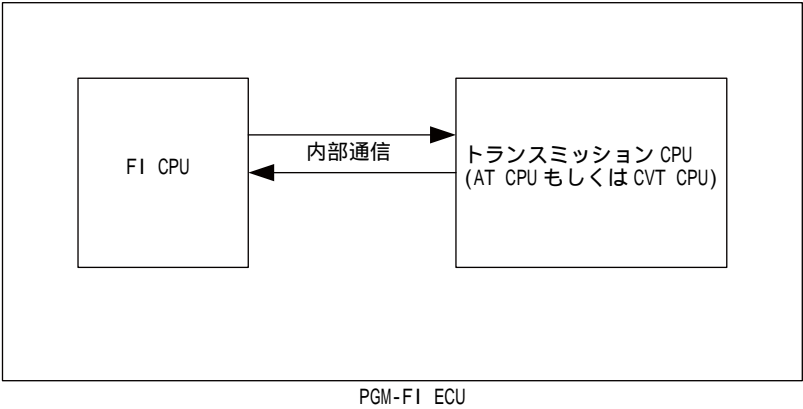


DTC 解説

DTC U0300: PGM-FI システム /AT システム プログラム バージョン不整合

検知原理解説



01_U0300G_SYYB00

PGM-FI ECU 内部では、FI CPU プログラムとトランスミッション CPU プログラム情報の送受信を行い、通信データ セットのプログラム バージョン チェックを行っている。
FI CPU もしくはトランスミッション CPU のプログラム書換えを行った際、FI CPU とトランスミッション CPU 間で内部通信データに互換性がない状態となった場合、PGM-FI ECU は内部通信データ プログラムのバージョン不整合と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	0.5 秒間以上
検知手法種別	1D/C (単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
イグニッション スイッチ	ON(I)

故障判定基準

FI CPU もしくはトランスミッション CPU のプログラム書換えを行った際、内部通信データ プログラムのバージョンが整合していないと判断された場合。

推定故障部位

FI CPU とトランスミッション CPU 間の内部通信データ プログラムのバージョン不整合

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。